



みやまえ Miyamae

滑川町立宮前小学校 学校だより

冬休み号 令和 元年12月24日

電話 0493-56-2204 FAX 0493-56-2065

「苦しむ人のために」を実行。中村 哲さんの死

アフガニスタンで活動中の中村哲さんが、今月の4日、何者かに銃撃され亡くなりました。テレビや新聞で大きく報道されたので、知っている人も多いと思います。

中村さんは、アフガニスタン難民の命を救う事業に懸命に取り組んできました。アフガニスタンは、「普通の場所が一瞬にして戦場になる」と言われるほど治安が悪く、とても危険な地域です。「なぜ、わざわざ危険な地域に行くのか」という質問に、中村さんは「道で倒れた人を見たら『大丈夫か』と駆け寄るでしょう。それが人間共通の心だと思う。みんなが行くところには誰かが行く。誰も行かないところにこそ、我々が行く意味がある」とこたえています。

「死にかけた赤子の一瞬の笑みに感謝する世界がある。シロップーさじの治療が恵みである世界がある。生きていること自体が与えられた恵みなのだ」中村さんは、お医者さんとして、まず医療活動を始めました。

その後、アフガニスタンで大干ばつが始まりました。「人々の暮らしを根底から奪った干ばつで何より命のための水が必要だった」中村さんは、難民の命を救うのは「水」だと気づきました。「100の診察所より1本の用水路」を合言葉に、今度は、かんがい事業に取り組みました。かんがい事業を進める中で、大切な仲間である伊藤和也さんが武装集団に襲撃され殺害されてしまうということもありました。「武器を取る者は取れ。私たちは、クワで平和を実現しよう」仲間の死を乗り越え、中村さんは、現地の人々のやり方を尊重し、現地の人と共に行動しました。そして、ついに用水路の建設に成功したのです。砂漠に緑がよみがえりました。この事業により、1万6500ヘクタール(日本の総面積の43%あまり)の土地に水が引かれ、65万人の命が救われました。

その中村さんが、殺されてしまったのです。突然の死を受け、国連やアメリカ合衆国など国際社会からも中村さんを悼む声が相次ぎました。そして、誰よりも中村さんを「ドクターサーブ(私たちのお医者様)」と慕っていた現地の人々が「アフガンは真のヒーローを失った」「アフガニスタン人として生き、アフガニスタン人として亡くなった中村先生。あなたを守れなくてごめんなさい」とその死を悼みました。

故郷の福岡での中村さんの葬儀では、息子さんの健さんが次のように述べています。

私自身が父から学んだことは、家族はもちろん人の思いを大切にすること、物事において本当に必要なことを見極めること、そして必要なことは一生懸命行うということです。私が20歳になる前はいつも怒られていました。「口先だけじゃなくて行動に示せ」と言われていました。「俺は行動しか信じない」と言っていました。

父から学んだことは、行動で示したいと思います。この先の人生において自分がどんなに年を取っても父から学んだことをいつも心に残し、生きていきたいと思います。

今日は、私たち日本人が、いえ、世界中の人が決して忘れてはいけない人だと思い、中村哲さんのお話をしました。



12月5日付 毎日新聞より

児童・保護者の活動、地域の皆様の活動



なかよし 落ち葉拾い



ピースキャラバン 平和資料館 立元 亮 先生



滑川町駅伝大会



芸術鑑賞会 武蔵越生高校 和太鼓部「青龍」のみなさん

1月の主な行事予定 ※変更が生じる場合があります。

1月 8日(水) 始業式 短縮3時間
 9日(木) 5時間授業
 身体測定(123年生) 給食開始
 10日(金) 身体測定(456年生)
 餅つき大会 滑川中学校入学説明会
 13日(祝) 成人の日
 15日(水) 4年生社会科見学 ふれあい弁当

16日(木) 読み聞かせ
 20日(月) 月曜6時間
 21日(火) PTA常任委員会
 23日(木) 校内書きぞめ展(24日まで)
 24日(金) 6年生社会科見学
 27日(月) 避難訓練
 29日(水) 6年生租税教室